11　　の北の方　　　　　　　　　　　　　　　形容動詞

刑部卿敦兼は、見目の世に憎さげなる人なりけり。その北の方は、華やかなる人なりけるが、五節を見侍りけるに、とりどりに、華やかなる人々のあるを見るにつけても、先づわが男の悪さ心憂くアおぼえけり。家に帰りて、すべて物をだにもイ言はず、目をも見合はせず、うち側向きてウあれば、しばしは、何事のエ出で来たるぞやと、心も得ずオ思ひゐたるに、次第に厭ひまさりてかたはらいたきほどなり。ある日、夜静かにて、月の光、風の音、物ごとに身にしみわたりて、人のうらめしさもとりそへておぼえけるままに、心を澄まして、篳篥を取り出でて、時の音にとり澄まして、繰り返し謡ひけるを、北の方聞きて、心はや直りにけり。それより殊に仲らひカめでたくなりにけるとかや。優なる北の方の心なるべし。

【本文チェック】

①　ア～カの用言の、活用の種類（動詞は活用の行も）・文中での活用形を書きなさい。

　ア（　　　　　活用　　　　形）　　イ（　　　　　活用　　　　形）

　ウ（　　　　　活用　　　　形）　　エ（　　　　　活用　　　　形）

　オ（　　　　　活用　　　　形）　　カ（　　　　　活用　　　　形）

②刑部卿と北の方を示す単語をすべて□で囲みなさい。

③傍線部を現代語訳し、書きなさい。

　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【語彙力 ✚】

問１　次の語句の読みを、現代仮名遣いで答えよ。

１　五節〔２〕（　　　　　　　）

２　先づ〔２〕（　　　　　　ず）

３　うち側向く〔３〕（うち　　　　　　　く）

問２　次の語句の意味について、空欄を埋めよ。

１　あり〔２〕　①（　　　　　　）

　　　　　　　　②生きている・暮らす・過ごす

２　はや〔７〕　①すでに

　　　　　　　　②（　　　　　　　　　）

問３　次の傍線部の意味として最も適当なものを選べ。

１　取りどころなきもの。憎さげに、心悪しき人。（枕草子）

　ア　憎らしげである　　イ　劣っている

　ウ　おもしろい　　　　エ　恐ろしい

　（　　　）

２　年の暮れに、浅草寺のあたりに市といふことありて、ことに人多くいづるなり。（花月草紙）

　ア　いくらか　　イ　まれに

　ウ　格別に　　　エ　相変わらず

　（　　　）

３　似るを友とかやの風情に、もすいたりければ、かの女房も優なりけり。（平家物語）

　ア　優雅だ　　イ　優れている

　ウ　優しい　　エ　けなげだ

　（　　　）

【文法力 ✚】

問４　次の活用表の空欄を埋めよ。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 漫々  　たり | | 静か  　なり | | 基本形 |
|  | |  | | 語幹 |
| （　　） | |  | | 未然形 |
|  |  |  |  | 連用形 |
|  | |  | | 終止形 |
|  | |  | | 連体形 |
| （　　） | |  | | 已然形 |
| （　　） | | （　　） | | 命令形 |
|  | |  | | 活用の  種類 |

問５　次の傍線部の形容動詞の活用の種類と活用形を答えよ。

１　としてせぬ。（宇治拾遺物語）

　　　活用の種類（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

２　まだいといはけなくをかしげにておはす。（源氏物語）

　　　活用の種類（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

３　舟もださでいたづらなれば、ある人の詠める。（土佐日記）

　　　活用の種類（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

４　人の心すなほならねば、なきにしもあらず。（徒然草）

　　　活用の種類（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

【古典常識】

問６　「北の方」とは貴人の奥方のことで、多くは正妻を指す。これは、貴人の妻が邸宅の北側の部屋に住んだことがその由来とされる。

　　　平安時代の貴族の邸宅の形式を指す語を次から一つ選べ。

ア　数寄屋造　　イ　書院造　　ウ　寝殿造

　（　　　）

【解答】

【本文チェック】

①　ア＝ヤ行下二段・連用　イ＝ハ行四段・未然　　ウ＝ラ行変格・已然

　　エ＝カ行変格・連用　　オ＝ワ行上一段・連用　カ＝ク・連用

②　（刑部卿）　刑部卿敦兼〔１〕・人〔１〕・男〔２〕

　　（北の方）　北の方〔１・７・８〕・人〔１・６〕

③　人々がいるのを見る

問１　１＝ごせち　２＝ま　３＝そばむ

問２　１＝いる・ある　２＝すぐに

問３　１＝イ　２＝ウ　３＝ア

問４　（静かなり）　静か｜なら｜なりに　｜なり｜なる｜なれ｜なれ｜ ナリ活用

　　　（漫々たり）　漫々｜たら｜たりと　｜たり｜たる｜たれ｜たれ｜タリ活用

問５　１＝タリ活用・連用形　２＝ナリ活用・連用形

　　　３＝ナリ活用・已然形　４＝ナリ活用・未然形

問６　ウ

【現代語訳】

問３　１　何のとりえもないもの。顔立ちが劣っていて、気立ても悪い人。

　　　２　年の暮れに、浅草寺のあたりで市ということがあって、格別に人が多く出かけている。

　　　３　似ている者を友とするとか（いうよう）な趣で、忠盛も風流であったので、（通っていた）その女房も優雅であった。

問５　１　たちまち消えてしまった。

　　　２　まだ大変あどけなくかわいらしげでいらっしゃる。

　　　３　舟も出さないで退屈なので、ある人が詠んだ（歌）。

　　　４　人の心は素直ではないので、偽善もないではない。